

愛寿会だより

3 月号
第 212 号
平成 29 年
3 月 10 日発行



【小荒間から眺める『八ヶ岳』 暦の上では春。暖くなるのが待ち遠しいです】

専門性を活かし、互いに高めあう職場づくりを目指しています
 研修会・講習会に参加を通して

第八回山梨県老協研究総会

二月十九日（日）に開催され、県内老人福祉施設から全三十四組の発表が行われました。仁生園もタミナルケア委員会の取り組みを発表しました。

仁生園の発表は、実際に直面したタミナル（終末期）のケアの事例を基にした内容です。ご家族様が仁生園での看取り介護を受け入れるまでの過程、そして具体的な取り組みと変化について考察した結果、課題・問題について報告しました。

また、看取り介護における「ふり返りカンファレンス（＝事例検討）」という仁生園独自の取り組みも紹介しました。今年度から導入し実施しております。故人を偲び、私たちが行ってきたケアを見つめなおす貴重な機会であり、今後の看取り介護へ活かしていく目的があります。実施して間もないですが、この積み重ねによってタミナルケアの質の向上につながることを期待しています。

今回の研修会では他施設の取り組みを知ることにも意義がありました。同じ取り組みテーマであったとしても、注目する視点の違いでケアの幅が広がります。熊本地震でのボランティア活動報告もあり大変参考になりました。

腰痛対策研修

毎月一回介護老人保健施設あらゆるの理学療法士・五味高義様を講師にお迎えし腰痛対策研修を開催しています。腰痛を抱えている職員もいる中で、ボデイメカニクスへの理解を深め、職員だけでなく利用者様の負担も少なく、いかに安全でスムーズに

介助に取り組むことができるかについて指導・助言をいただいています。

また、利用者様の状態に合わせた介助方法、姿勢保持、臥床時の安楽姿勢や体位交換の方法、クッションの当て方、福祉用具の紹介など細かいところまで利用者様の個性を重んじた方法も提案していただいています。

毎月の腰痛対策研修の内容を職員間で共有し工夫を重ね、仁生園全体で今後も積極的に取り組んでまいります。

愛寿会では職員のスキルアップ向上を目指し、県内外で行われる研修会・講習会に業務の合間を縫って積極的に参加するようにしています。参加した職員だけで得たスキルや知識を留めることなく、全職員を対象に随時伝達講習会を開催しています。また、職員それぞれが研究委員会に所属して疑問点や課題を明確化し、解決に向けて活動しています。



【腰痛対策研修の様子】

利用者様のニーズは多様化しております。できないと諦めることなく、柔軟に対応できるよう知識・スキルを習得し、視野を広げて仕事に向き合い、利用者様に安心して生活していただけるよう職員一同、これからの研鑽を積んでまいります。

お誕生日おめでとーんがいます
いつまでもお元気で

二月十五日（水）、北杜市福祉課による慶祝訪問がありました。この日の主役は、満百歳を迎えられた矢ヶ崎はる代様です。

明るい笑顔が印象的な矢ヶ崎様。お祝いの席でもずつとにこにこされていて、とても温かい雰囲気での慶祝訪問となりました。花束が贈呈されると少し驚かれた様子でしたが、「ありがとうございます。」と、張りのあるはつきりとした大きな声でお礼の言葉を何度も述べられていました。

お祝いに駆けつけた息子様は、「とても働きの母で、料理が得意。何を作っても上手だったな。」と思いを話されました。



矢ヶ崎様はとても歌が上手で、この日のお祝いの席でも披露してくださいました。さまざまな行事でもお歌を披露して場を盛り上げてくださっています。また笑顔で職員に話しかけてくださり、職員はいつも元気をいただいています。

これからも矢ヶ崎様の歌をたくさん聴かせてください。どうぞ、いつまでもお元気で過ごしてください。

鬼はそと！

節分は、「福は内、鬼は外」と声を出しながら福豆をまいて悪鬼を払う伝統的な行事です。年齢の数だけ（もしくは一つ多く）豆を食べる厄除けを行うほか、玄関先に邪気除けの鯛の頭や柊を飾ることも知られています。



仁生園では、今年も袴を着た年男・年女が中心となり節分の行事を行いました。職員は小話をしたり、発声練習を兼ねて節分の歌を利用者様と一緒に歌いました。

さあ準備は万端、いよいよ鬼の登場です。「鬼は外！福は内！」と元気に声を出しながら鬼めがけて豆をまき邪気払いをすること

福はうちー！

ができました。その後のお茶会では昔の節分の思い出話や今年一年良い年で過ごせるように願うひとときとなりました。

グループホームやすらぎでは、恵方巻づくりをしました。具がたくさん入った手作りの巻き寿司は上出来です。いわしを焼き、デザートも手作り。今年の節分の特別メニューの完成です。今年の方



方は「北北西」。恵方巻を丸かぶり「今年も元気でござますように・・・」と無病息災を願いながら、食事を楽しました。



寒い冬もお祭りで大盛り上がり

二月十二日（日）、お祭り広場を開催しました。お祭り広場は年に二回行っています。

魚釣りゲーム、糸ひき、輪投げのアトラクションとお好み焼き、フルーチェ、ジュース等の飲食の屋台も用意しました。今回も多くの利用者様に参加いただきました。今回の一番人気は食欲をそそる香りのお好み焼きです。焼きたての味に舌つづみをうっていました。



一方隣では、見た目以上に難しい魚釣りに挑戦し

ている方も。上手に釣れると、「すごい！」と周囲から拍手がおこっていました。日曜日の午後、とても楽しい時間を過ごすごとができます。

今回はアトラクションにゲームを増やすなど工夫をし、お祭り気分を味わっていただけような、より楽しいものになるように企画していきたいと思えます。次の機会をどうぞお楽しみにしてください。



白熱したレクリエーション

二月二十六日（日）、お楽しみ会を開催しました。今回のお楽しみ会の内容は、ボーリング大会です。各班から選手を五名ずつ選出していただき、ピンを倒した数を競い合います。



な利用者様の表情をみるのができました。周りで見ていた方々も自分たちの班の方が投げられる際は「頑張れー！」と大きな声援を送り、各班一丸となつて、とても盛り上がっていました。

上位三つの班には表彰状をお渡ししました。競技の結果は一位一―三階東フロア、二位三班、三位二班となりました。予想以上に盛り上がりを見せ、日々の寒さを忘れてしまう時間となりました。今回もたくさん笑顔を見ることができ、楽しいボーリング大会になりました。



準備体操を全員で行った後、いよいよ競技の始まりです。ほどよい緊張感もあり、ボールを投げる姿は真剣そのものです。倒れたピンの数を見て嬉しそうな顔や照れ笑い。また、倒れた数の少なかつた時の悔しそうな顔など、さまざま

仁生園デイサービスセンター

春を感じるひょうたん



二月中旬、デイサービスセンターでは「桃の節句」を迎えるにあたり、雛飾りを利用者様と職員が一緒に行いました。「ここでよかったですから」と話しながら丁寧に飾っていただきました。またレクリエーション

活動では、食卓に飾るのにぴったりの小さな雛飾りに取り組みました。発砲スチロールとりめんの布を使いお内裏様とお雛様をつくります。最後はお顔を描いて完成です。細かい作業でしたが、どの雛飾りも手作りの味があり、かわいらしいものとなりました。



山梨では雛祭りを四月三日に行っているところが多く、北杜市も例外ではありません。雛飾りは四月までフロアを明るく華やかに彩ってくれることでしょう。

赤い羽根共同募金

助成事業完了のお知らせ

このたび平成二十八年度 赤い羽根共同募金の助成を受け、左記の事業を完了することができました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、ご協力を賜りました関係各位に対しまして、謹んで感謝の意を表します。

記

- 一、事業所名 障害者支援施設 第二仁生園
- 一、事業の内容 3 モーターベッド 二台
- 一、補助金額 一九七、四〇〇円
- 一、事業費総額 二八一、八八〇円
- 一、完了年月日 平成二十九年三月八日



社会福祉法人 愛寿会

理事長 小宮山 光彦



感謝

平成二十九年二月一日

平成二十九年二月二十八日

愛寿会・仁生園・第二仁生園への ご協力ありがとうございました。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

ボランティア活動

・レクボランティアほがらかグループ

代表 吉田 道子 様

・レクボランティアゆずっこの会

代表 佐野 恭子 様

・北杜市

うたなかま八ヶ岳

様

・北杜市

保坂 多枝子

様

・北杜市

山口 潤子

様

・北杜市

市原 彌恵子

様

・金田一春彦記念図書館

小尾 千晴 様

進藤 由美 様

高野 裕美 様

宮沢 愛子 様

本長 慶子 様

愛寿会サービスへのご意見・ご要望や施設見学等のご希望がございましたら左記までご連絡ください。

仁生園 電話 0551(32)3340
第二仁生園 電話 0551(32)8270

後援会入会者様

・北杜市 相吉 節子 様
・北杜市 内田 英子 様

金品・物品のご寄附

・横浜市 宇都宮 和子 様

第二仁生園

〜 コーヒー喫茶 〜



コーヒー喫茶は今回で二回目の開催です。この日は、午前十時の開店前からコーヒーの香りに誘われて喫茶ルームの前にはたくさんのお客様が行列を作ってくださいました。

「今度はいつ?」「ちよくちよくやって欲しいなあ」と笑顔で言ってくれました。私たちが職員も、次は何のお菓子にしようかしら...と、皆様の笑顔を楽しみに次の計画をしていきます。



ご面会の皆さま 手指の消毒などにご協力を! 仁生園・第二仁生園 共通

お手数をおかけしますが、施設利用者様の健康を守るために左記の項目をお守りくださいますようお願いいたします。

一 ご面会は、なるべく午前九時から午後五時の間をお願いいたします。

二 出入口は、正面玄関からのみとしてくださるようお願いいたします。

三 ご面会の際には、必ずマスクを持参してください。

四 玄関に入りますと正面に消毒液が設置されておりますので、手指を丁寧に消毒してください。

五 ご面会に訪れたことを事務室にお話してください。その際、体調の悪い方にはご遠慮いただくことがあります。

六 ご面会の際には、マスクの持参・着用をお願いいたします。

*感染症流行期や感染または疑いのある方は、急な面会制限をさせていただきます。

現在感染症対策として面会制限をさせていただきます。四月から通常通り、面会していただけます。ご理解とご協力をいただきありがとうございます。